

2015 Short Term Visit Program for Descendants of Immigrants from Fukuoka Prefecture
Reflection Report 【for youth members】

「プログラムで得たこと・学んだこと」

「What have you gained and learned from this program?」

県人会名： 南加福岡県人会

氏名： 廣中征爾

ぼくは福岡でいろいろな、初めての経験をしました。ぼくは初めてお母さんの親せきの家にホームステイをして、僕のひいおばあさんに会いました。ひいおばあさんは、ぼくに会えてとてもうれしいと言ってくれました。そして、ひいおじいさんのお墓参りに行きました。日本のお墓はお寺にあって、ぼくはお線香を揚げました。

ぼくは日本の小学校にも行きました。ぼくたちはみんなで給食を食べて、そうじをしました。みんなに日本のいろいろな遊び方を教えてもらいました。日本の学校の体験ができて、とても良かったです。

一番楽しかったことはいろんな国の友だちができたことです。ぼくはパラグアイやボリビアなどから来た友だちとトランプや追いかっこをして遊びました。ぼくが知らない遊びをいろいろと教えてくれました。ぼくたちはいろんなものが売っている自動販売機で食べ物や飲み物を買ったり、お菓子をみんなで分け合いました。

～親御さんからのメッセージ～

～Message from the parents～

「プログラムに参加する前と後では子どもたちにどのような変化がありましたか？」

「Have you noticed any changes in your child before and after the program ?」

氏名： 廣中 恵

今回はこのような素晴らしいプログラムに息子を参加させて頂き、本当に有難うございます。帰国後の息子の様子を見て、福岡での体験がとても生き生きしたものだったこと、そして彼の心の成長がうかがえました。それは受け入れ先の福岡国際交流センターのスタッフの皆さん、いろんな国からきたお友達、小学校のお友達、親戚家族と気持ちの温かい交流が持てたからだと思います。帰国後しばらくは写真などを見ながら、福岡での経験を少し興奮気味に教えてくれました。滞在中、皆さんのお陰で彼の心が大きく広げられた分、いろいろな初めての経験を素直に受け止められたように思います。また、日本語を使って交流することに自信が付き、会話を楽しめるようになったようです。今回のプログラムを機に自分の住み慣れた町や国以外の人との交流の大切さを感じ取れた事と思います。貴重な体験をさせて頂いたことにとっても感謝しています。